



# 名瀬小だより

## 11月号

学校教育目標

自分・友だち・まちがすき  
自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

令和元年 10月31日

横浜市立名瀬小学校

校長 中嶋 孝宏

## 最高の運動会

校長 中嶋 孝宏

10月5日に晴天の中、運動会が開催されました。運動会前の朝会で「全力を出して取り組んでほしい」と自分の力を出し切る大切さを伝え、当日を迎えました。実行委員NUTsの司会のもとで開会式を行い、聖火ランナーの赤組森本さん、白組叶さんが聖火を点灯し、赤組白組の応援団長の若桑さん、山野さんによる選手宣誓で幕を開きました。堂々として立派な宣誓でした。

どの競技、演技もすばらしいものでした。徒競走やリレーでは、順位によらず全力で走る姿がありました。演技では目を見張る取組となりました。1年生による「い・い・ねの花を咲かせよう～パプリカ～」では、笑顔あふれるダンスでした。2年生による「名瀬っ子キング」ライオンキングの曲に合わせて「かっこいい」演技となりました。3、4年生による「跳んで！跳んで！ひだまりSUN!」では、縄跳びを使った難易度の高い演技へのチャレンジとなりましたが見事にやり遂げました。そして5、6年の「名瀬っ子ソーラン 2019」は、まず6年生によるダンスから始まりました。強い日差しの中、大きく手を伸ばし全身で表現する姿には心が震えました。その後5、6年生でのソーラン節、練習を積み重ねないと到達することができない素晴らしい取組となりました。

応援団による応援合戦はメリハリがあり迫力ある応援でした。地道に練習を重ねてきた成果ができました。盛り上がった玉入れ、迫力ある騎馬戦、低学年・高学年によるリレーではみんなの応援の中、最高の盛り上がりを見せてくれました。閉会式に臨む姿勢からは「全力で取り組んだ」気持ちが伝わってきました。

地域の皆様、保護者の皆様をはじめ、PTA委員、おやじの会、名瀬中学生のボランティアメンバーなど多くの方々に支えられた運動会でした。終了後、保護者の皆様方のご協力ですmoothに片づけをすることができ、支えられている想いを実感いたしました。本当にありがとうございました。

15日には始業式が行われ、後期がスタートしました。「自分を大切に取組」を積み重ねていってほしいという話をしました。気持ちのよいあいさつを交わしたり、授業に集中したり、掃除を丁寧にしたり、休み時間に思いっきり遊んだりなど毎日の学校生活を真剣に過ごすことが自分を大切に取る取組となり自信がもて、結果、相手を大切にできることにつながります。令和元年の後期の成長を期待しています。保護者の皆様、地域の皆様、ご家庭や地域やでの生活でも子どもたちの成長を認めご支援していただきますよう引き続きよろしくお願ひします。